

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立恵那高等学校

学校番号 49

I 自己評価

1 学校教育目標	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇進路指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>「学校は、生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている。」という項目では、「あてはまる」と回答している保護者は79%、生徒は82%（昨年78%、一昨年は81%）であった。校外実施の大学説明会やオープンキャンパスの案内等、進路情報の提供に努めた。校内での大学説明会、進路指導部による講演会等、進路意識の高揚を図るための行事等を新たに実施した。</p> <p>「学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている。」という項目では、「あてはまる」と回答している保護者は78%、生徒が78%（昨年79%、一昨年は77%）であった。1, 2年生に対して進路指導部としてさらに担任・学年団をサポートして意図的、系統的な指導を実施していく必要がある。</p>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国公立大学センターなし及びあり推薦入試の利用 ・ 土曜講座、補習、放課後センター演習の充実 ・ 「キャリア教育」の取組の充実 ・ 高大連携、校外行事への参加の促進 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年、各教科、対外機関との連携強化 ・ 企画部、理数科部との連携による行事等への取組 	
6 目標達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定 あるいは指標	
①適時性を重視した進路情報の収集・分析・提供	①AO・推薦・一般入試、センター試験の結果分析	
②補習、サライ講座、センター演習、小論文・面接指導の充実	②模試や入試結果の分析と現状把握と対策	
③SSH及び総合的な学習の時間との連携	③SSH及び総合学習の推薦入試への利用	
④他校との連携及び高大連携講座・行事への参加	④高大連携講座や対外行事に参加した感想	
8 取組み状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
①「進路ノート」の活用と四半期ごとの構造図の作成	①適時性を重視した進路情報の収集と提供	A (B) C D
②推薦・AO入試の小論文指導、面接指導の実施	②補習や講座等の校内体制の確立	A (B) C D
③全校科学講演会、学部学科別ガイダンス、職業講話、高大連携講座、名大入試研究講座、外科手術体験等の行事の実施	③SSHや総合学習との連携	A (B) C D
④放課後センター演習時における上位者補習の実施	④校内外行事活動への参加	A (B) C D
11 成果・課題	<p>○OPTAと協力し、昨年度に引き続き校内で大学説明会を実施した。参加大学を10校に増やした。放課後希望者対象であったが生徒154名と保護者44名が参加した。また、無料送迎バスによる校外の進路ガイダンスを実施し、19名の生徒が参加した。進路選択・検討の機会を提供することにより進路意識の向上を図ることができた。</p> <p>○平日及び長期休暇中の補習、土曜自主講座、一次・二次特編授業など、受験に向けての指導が教員の協力のもと一年間を通して実施でき、多くの生徒が参加した。</p> <p>○放課後センター演習と同時並行で実施した上位者向けの記述対策補習を初めて実施したが、生徒・教員とも学力向上の手ごたえを感じる事ができた。</p> <p>▲3年生の「進路ノート」の活用はほぼ計画的通りに実施できた。四半期ごとの構造図を作成したが、2年生は行事が多く計画通り実施することが十分できなかった。</p> <p>▲教員用「進路マニュアル」を昨年度作成はしたが、改善の余地が多く再構成を実施したため、全職員による統一した進路指導を実施することは不十分であった。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ○「進路ノート」の意図的・系統的活用と1, 2年生の「進路ノート」の作成と計画的な運用。 ○教員用「進路マニュアル」の内容改善と統一性・系統性のある進路指導の充実と実践。 ○「受験は団体戦」のもと、放課後センター演習・2次対策の補習等の実施内容の検討。 	

Ⅱ 学校関係者評価

実施年月日：平成29年1月25日

【意見・要望・評価等】

- ・恵那高校には幅広い学力の生徒が集まっている。一人ひとりに寄り添った、一人ひとりに適した教育をして、進路希望が実現できるようにして欲しい。
- ・生徒や保護者は近年変化してきている。地元や保護者が期待している学校であるし、それに応じられる学校にして欲しい。
- ・アンケートの結果をみると、進路指導に関しては生徒・保護者とも概ね高い評価を得ている。
- ・進路意識を早い時期から持たせ学習に臨ませることがより高い効果を得ることができることから、1，2年生への進路指導に対して、引き続きご尽力をお願いしたい。